

○地方創生拠点整備交付金事業総括表

○地方創生拠点整備交付金事業

(単位:円)

No.	事業名称	総事業費	左の財源内訳			担当課 評価	審議会 評価
			国	県	町		
1	(H30実施事業) 道の駅つるたを核とした加工施設集約 による生産性向上事業	405,439,560	198,145,980		207,293,580	B	A
2	(H29実施事業) 道の駅つるた「鶴の里あるじゃ」を核と したスチューベンぶどうブランド化推進 事業	147,032,674	73,516,336		73,516,338	B	A
3	(H29実施事業) 道の駅つるたを核とした地域資源活用 事業	201,630,929	94,426,676		107,204,253	A	A
	合計	754,103,163	366,088,992		388,014,171		

※No.1の地方創生拠点整備交付金(決定額)199,271,000円から交付金充当額198,145,980円を除いた1,125,020円は
不用額で処理予定

※財源内訳の町207,293,580円のうち199,200,000円は起債を充当し、一般財源は8,093,580円。

【地方創生拠点整備交付金 Q&A から抜粋】

(制度趣旨)

・本交付金は、未来への投資という観点から、地方版総合戦略に位置づけられ、地方公共団体が自主的・主体的に実施する先導的な事業に必要な施設の新設・改修を支援するもの

(対象事業)

・具体的な対象施設として、観光地域づくりに効果的な観光施設の改修、地域全体のブランディング戦略に資する収益施設等整備又は改修、移住定住促進のために行う空き施設の改修、生涯活躍のまちの推進に資する多世代交流の拠点施設の整備など

(先導性について)

・先導的な事業としては、政策間連携、官民協働、地域間連携、自立性のいずれかの観点で一定の先駆性が見込まれること

事業効果の判定基準について(担当課評価)

A	本事業は地方創生に非常に効果的であった (指標が目標値を上回ったなどの場合に選択してください)
B	本事業は地方創生に相当程度効果があった (目標値を上回ることはなかったものの目標値を相当程度(7割~8割)達成した場合に選択してください)
C	本事業は地方創生に効果があった (目標値を上回ることはなかったものの事業開始前よりも改善したなどの場合に選択してください)
D	本事業は地方創生に対して効果がなかった (実績値が本事業開始前の数値よりも悪化しているなどの場合に選択してください)

事業効果の判定基準(審議会評価)

A	本事業が鶴田町まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI達成に有効であった
B	本事業が鶴田町まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった

事業評価シート

1	担当課	企画観光課	班名	まちづくり班
2	事業名称	道の駅つるたを核とした加工施設集約による生産性向上事業		
3	事業期間	平成30年5月2日 ～ 令和元年7月31日		
4	事業委託先、事業実施主体等	①設計監理業務:(株)楠山設計 ②建設工事:齋勝建設(株)、(株)須郷土木 ③備品購入:(株)第一事務機		
5	事業目的・対象等	<p>現状、生産性が低い要因としては、特産スチューベンぶどう及びびんごのジュース加工を自社製造し、さらに地元事業者及び農家から受託加工している農産加工センター機械設備の老朽化、また、この施設が道の駅つるたから離れていること、道の駅つるたが冷蔵庫を所有していないため借用していることが挙げられる。</p> <p>その要因を打開するため、本事業により農産加工センターを新築し、既存の2倍の容量を有する冷蔵庫及び保管庫、紙パック入りジュースなど新商品開発ができる設備の導入、外部に委託加工していたスチューベンソース製造機械の導入、これまで廃棄されていたスチューベンぶどうの種を活用したシードオイル研究開発及び見学可能な機能を持った施設を整備する。</p>		
6	事業内容	<p>①農産加工施設の新築(546.06㎡) 冷蔵庫、製造室、保管庫、事務室、玄関、男女更衣室、男女トイレ、準備室、選果・洗浄室、機械室、加工機器</p> <p>②農産加工施設の外構(195.15㎡) アスファルト舗装1,244㎡、砕石舗装276㎡、コンクリート舗装52㎡</p>		
7	実績・効果等	<p>①設計監理業務委託(18,144,000円 (株)楠山設計) 設計に係る打合せ計10回(5/10、5/18、6/18、6/28、7/10、7/24、8/21、9/3、10/16、11/26)</p> <p>②建築工事(359,996,400円 齋勝建設(株))</p> <p>③外構工事(26,827,200円 (株)須郷土木) 工事に係る打合せ計14回(12/25、1/8、1/22、2/5、2/19、3/5、3/19、4/2、4/16、5/8、5/21、6/5、6/18、7/2)</p> <p>④備品購入(471,960円 (株)第一事務機) ・更衣室用ロッカー3台、事務室用両開き書庫1台、事務室用折りたたみ椅子10脚、事務室用両袖デスク2台、事務用椅子3脚</p>		
8	重要業績評価指標(KPI)	<p>①農産加工施設のジュース製造数量:H34末 37,000L増(H28実績:73,381L)</p> <p>②シードオイルの開発数:H34末 5個増(H28実績:0個)</p> <p>③農産加工施設の来客数:H34末 40,000人増(H28実績:0人)</p>		

9	担当課意見	B	A 非常に効果的であった C 効果があった	B 相当程度効果があった D 効果がなかった				
10	上記の理由	<p>本事業のKPIは、事業実施から5年後のH34末となっており、単年度ごとの目標値もH30が初年度で、R1が2年目といった設定をしている(下表参照)。 全てのKPIの実績については、目標値と同じである。 ただし、本事業が用地交渉決裂などの諸事情からH30年度内に完了せず、事故繰越により7月末に完了し、施設開業が遅れたことを考慮して、B評価とした。</p>						
11	年度別事業費 (単位:千円)		事業費	左の財源内訳				伸率%
				国	県	その他	一般	
		H30	405,440	198,146		199,200	8,094	
	R1(予算)	0				0	▲ 100.0	
12	補足事項							

	事業開始前 (現時点)	H30増加分 (1年目)	R1増加分 (2年目)	R2増加分 (3年目)	R3増加分 (4年目)	R4増加分 (5年目)
①農産加工施設の ジュース製造数量(L)	73,381	0	7,000	10,000	10,000	10,000
①の実績		0				
②シードオイルの開発数 (個)	0	0	1	1	1	2
②の実績		0				
③農産加工施設の来客 数(人)	0	0	10,000	10,000	10,000	10,000
③の実績		0				

事業評価シート

1	担当課	企画観光課	班名	まちづくり班
2	事業名称	道の駅つるた「鶴の里あるじゃ」を核としたスチューベンぶどうブランド化推進事業		
3	事業期間	平成29年2月24日 ～ 平成30年3月31日		
4	事業委託先、事業実施主体等	①設計監理業務:(株)楠山設計 ②建設工事:(株)伊藤鉱業、(株)ミワ電工 ③備品購入:ホシザキ東北(株)、(株)弘前事務機器商会		
5	事業目的・対象等	<p>当町の特産品であるスチューベンの販売額を増やすため、PR戦略や全国ブランドを目指すための総合的な販売戦略に係る検討や活動を行ってきたが、マーケティングに基づく有効な販売戦略の不足やスチューベン6次産業化の拠点である道の駅つるたの機能不足が課題となっている。</p> <p>本事業は、道の駅つるたの一部を増築し、プロトン冷凍庫等の整備及びイートインコーナーを増設する。これにより、鶴の里あるじゃでは、スチューベン大福等のお土産品の賞味期限が延長することによる廃棄ロスの減、遠方のお土産品としての対応、プロトン冷凍を活用した生果新商品の開発等が可能になる。大豆・米加工施設では、購入した物をその場で飲食できるようになり、さらには地元産果実を使った新商品を開発し提供できる体制ができる。</p>		
6	事業内容	<p>①鶴の里あるじゃの増築(53.7㎡) 前室(加工室)、急速凍結庫、冷凍庫、冷蔵庫の整備</p> <p>②大豆・米加工施設の増築(195.15㎡) イートイン・販売スペース、加工室、風除室の整備</p>		
7	実績・効果等	<p>①設計監理業務委託(9,936,000円 (株)楠山設計) 設計に係る打合せ計6回(5/30、6/19、7/3、7/14、7/31、9/7)</p> <p>②建築工事(95,132,887円 (株)伊藤鉱業)</p> <p>③設備工事(26,715,699円 (株)ミワ電工) 工事に係る打合せ計11回(10/16、10/26、11/9、11/23、12/8、12/22、1/12、1/26、2/9、2/23、3/9)</p> <p>④備品購入(13,888,800円 ホシザキ東北(株)) ・大福餅用小型包装機1台、大福餅用冷凍ショーケース1台 ・洋菓子ショーケース1台、パンスライサー1台、エスプレッソコーヒーマシン1台、チップアイスディスペンサー1台、ドリンクスペンサー1台、バーミキサー3台、アイススライサー1台、ホットショーケース1台、コールドテーブル4台、製氷機1台、1層シンク1台、2層シンク1台、作業台6台、茹で麺器1台、フライヤー1台、ガスコンベクションオープン1台、食材庫1台、リーチインショーケース1台、オーバーシェルフ2台、パイプシェルフ4台</p> <p>⑤備品購入(1,359,288円 (株)弘前事務機器商会) ・イートインチェア16脚、イートインテーブル8台、カウンターチェア29脚、コーヒーマシン・ソフトクリーム台1台、ジュースサーバー1台</p>		
8	重要業績評価指標(KPI)	<p>①道の駅つるた施設全体の販売額:H32末 95,000千円増(H27実績:434,033千円)</p> <p>②鶴田産原材料購入数量:H32末 10,000kg増(H27実績:55,152kg)</p> <p>③新商品開発数:H32末 15個増(H27実績:0個)</p>		

9	担当課意見	B	A 非常に効果的であった B 相当程度効果があった C 効果があった D 効果がなかった					
10	上記の理由	<p>本事業のKPIは、事業実施から5年後のH32末となっており、単年度ごとの目標値もH28が初年度で、H29が2年目といった設定をしている(下表参照)。 KPI①のH30実績については、目標値を大きく上回っている。 KPI②のH30実績については、目標値を下回っている。 KPI③のH30実績については、目標値を大きく上回っている。 以上からKPI①及び③の目標値は達成しているが、②が達成していないため、B評価とした。</p>						
11	年度別事業費 (単位:千円)	年度	事業費	左の財源内訳				伸率%
				国	県	その他	一般	
		H29	147,032	73,516		69,100	4,416	
		H30(予算)	0				0	▲ 100.0
12	補足事項							

	事業開始前 (現時点)	H28増加分 (1年目)	H29増加分 (2年目)	H30増加分 (3年目)	R1増加分 (4年目)	R2増加分 (5年目)
①道の駅つるた施設全体の販売額(千円)	434,033	0	5,000	15,000	30,000	45,000
①の実績		△ 968	△ 26,671	108,775		
②鶴田産原材料購入数量(kg)	55,152	0	1,500	4,000	7,000	10,000
②の実績		11,852	△ 4,089	△ 7,627		
③新商品開発数(個)	0	0	2	3	5	5
③の実績		0	0	14		

事業評価シート

1	担当課	企画観光課	班名	まちづくり班
2	事業名称	道の駅つるたを核とした地域資源活用事業		
3	事業期間	平成29年6月1日 ～ 平成30年3月31日		
4	事業委託先、 事業実施主体等	①設計監理業務:(株)楠山設計 ②建設工事:(株)伊藤鋳業、(株)ミワ電工 ③備品購入:ホシザキ東北(株)、(株)弘前事務機器商会		
5	事業目的・対象等	<p>当町は他の地域との差別化を図るため、特産のスチューベンに特化した農産物販売の取り組みを道の駅つるたを核として実施しており、販売額及び利用者数を伸ばしているが、建設後14年が経過し、施設的には飽和状態で農産物直売所・物販コーナーが手狭であることや、鶴の舞橋などの観光資源を有する情報拠点としての機能不足が課題となっている。</p> <p>本事業は、道の駅つるたの敷地内に地域特産物直売所を増築し、農産物直売所及び多目的イベントホール、観光案内所設置による機能強化を図るものである。</p>		
6	事業内容	①農産物直売所の新築(720.3㎡) 農産物直売所、イベントホール、観光案内所等の整備		
7	実績・効果等	<p>①設計監理業務委託(10,800,000円 (株)楠山設計) 設計に係る打合せ計6回(5/30、6/19、7/3、7/14、7/31、9/7)</p> <p>②建築工事(132,585,113円 (株)伊藤鋳業) ③設備工事(46,864,701円 (株)ミワ電工) 工事に係る打合せ計11回(10/16、10/26、11/9、11/23、12/8、12/22、1/12、1/26、2/9、2/23、3/9)</p> <p>④備品購入(10,778,400円 ホシザキ東北(株)) ・会員用陳列棚11台、プレハブ冷蔵庫1台、冷蔵多段ショーケース3台、冷蔵多段ケース2台</p> <p>⑤備品購入(602,715円 (株)弘前事務機器商会) ・サークル肘付チェア4脚、チェア6脚、片袖デスク2台、テーブル1台、保管庫1台、保存ラック1台、3人用ロッカー1台、パンフレットスタンド1台、掲示板1台、案内板1台、エコレイパネ2枚、月行事ホワイトボード1台、インフォスクリーン1台、デジタルコードレスFAX1台、レジスタ1台</p>		
8	重要業績評価指標(KPI)	<p>農産物直売所の利用者数:H33末 66,000人増(H27実績:373,213人)</p> <p>農産物直売所の販売額:H33末 30,000千円増(H27実績:132,631千円)</p> <p>観光客入込数:H33末 78,000人増(H27実績:441,811人)</p>		
9	担当課意見	A	<p>A 非常に効果的であった B 相当程度効果があった</p> <p>C 効果があった D 効果がなかった</p>	

10	上記の理由	<p>本事業のKPIは、事業実施から5年後のH33末となっており、単年度ごとの目標値もH29が初年度で、H30が2年目といった設定をしている(下表参照)。 KPI①のH30実績については、目標値を大きく上回っている。 KPI②のH30実績については、目標値を大きく上回っている。 KPI③のH30実績については、目標値を大きく上回っている。 以上から全てのKPIの目標値は達成しているため、A評価とした。</p>						
11	年度別事業費 (単位:千円)	年度	事業費	左の財源内訳				伸率%
				国	県	その他	一般	
		H29	201,630	94,426		94,200	13,004	
	H30(予算)	0				0	▲ 100.0	
12	補足事項							

	事業開始前 (現時点)	H29増加分 (1年目)	H30増加分 (2年目)	R1増加分 (3年目)	R2増加分 (4年目)	R3増加分 (5年目)
①(新)農産物直売所の 利用者数(人)	373,213	0	10,500	15,000	19,000	21,500
①の実績		12,255	84,089			
②(新)農産物直売所の 販売額(千円)	132,631	0	5,000	5,000	10,000	10,000
②の実績		△ 8,671	49,103			
③観光客入込数(人)	441,811	0	12,500	17,500	22,500	25,500
③の実績		79,636	110,664			